

## 宝達志水町 地域公共交通計画 パブリックコメントでのご意見と対応

○令和4年1月15日（土）～31日（月）までに実施したパブリックコメントにおいて、2件の意見を頂きました。

その他、パブリックコメントの要件を満たさない意見が1件あり、参考として紹介します。

番号	ご意見	対応
1	○コミュニティバスのルート再編にあたり、柳瀬会館前への乗り入れを検討してほしい。	ー令和4年度に行う町内公共交通の見直しにあたり、地域の要望を確認しながら、新たな停留所等を検討いたします。
2	<p><b>【自身について】</b></p> <p>○我が社の活動方針や県内での支援実績から、本町の地域交通の課題解決に協力が可能である。</p> <p><b>【運行形態全般のご指摘】</b></p> <p>○デマンドタクシー、コミュニティバス、南北シャトルの体制では、運行便数、運行範囲が不十分ではないか。</p> <p>○南北シャトルは便数が限られ、また、バス車両で運行する場合はコストが高くなるのではないか。</p> <p>○バス時間を気にせず予約することができるシステムがよい。</p> <p><b>【公共交通の車両の見直し】</b></p> <p>○バスではなく、ワゴン車で運行すれば管理費用が減るのではないか。</p> <p><b>【意見者が想定するデマンド交通の導入メリット】</b></p> <p>○ゴミステーション、病院、スーパー、スポンサー企業などに簡易的な停留所を設けることができる。</p> <p>○自宅から公民館といった近場の移動にも対応できる。</p> <p>○バス車両が通行しづらい道路や地域で運行ができる。</p> <p><b>【官民連携・協賛金の活用】</b></p> <p>○民間企業が事業主体となり、停留所となるスポンサーより協賛金を集めることで、行政負担や利用者の料金負担を減らすことができる。</p>	<p><b>【全般について】</b></p> <p>ー本計画で示した、コミュニティバス、南北シャトル、デマンドタクシーによる運行体制は、本町における移動ニーズや利用実績等を踏まえ、各交通手段の役割の整理により、持続的な地域公共交通体系の実現を目指すものです。特にご意見があったデマンド交通については、本町では平成18年度より自宅から目的地までドア to ドアでの移動できるデマンドタクシーを導入しており、町民から利便性等が評価されています。</p> <p><b>【各交通手段におけるご意見への対応状況】</b></p> <p>ーコミュニティバスについては、宝寿荘へのまとまった移動ニーズに対応するため、施設の利用時間帯に合わせ、バス車両で運行するものです。車両はこれまでと同様にスクールバスの空き時間を活用し、行政負担の低減を図っていきます。</p> <p>ー南北シャトルについては、デマンドタクシーの利用実績から、集中した同一方向への長距離移動を集約し、デマンドタクシー運行の効率化と料金負担の低減を図るものです。車両は集落等での小回りや運行費用を考慮してワゴン車を予定しており、便がない時間帯はデマンドタクシーで移動需要に対応します。</p> <p>ーデマンドタクシーについては、停留所ではなくドア to ドアでの移動に対応しており、身近な移動から町内及び羽咋市の一部へ移動できます。料金はより手軽に利用できるよう、区域内（旧町域を予定）では300円/回に見直す予定です。</p> <p><b>【官民連携・協賛金について】</b></p> <p>ー本計画においても、「町内商業施設と連携した利用促進」として、広告掲載やバス停のネーミングライツの付与等、企業との連携を進める予定です。</p> <p>ー本町では、よりよい公共交通網の形成に向け、継続的に情報収集をしています。今後のデマンドタクシーのシステム更新時等には、利用者ニーズや地域の実情を踏まえながら、新たな仕組みや官民連携・協賛金活用の可能性についても検討していきます。</p>

○パブリックコメントの要件を満たさない意見について、紹介します。

(町外在住で、「宝達志水町町民意見募集制度実施要綱」第2条第3号に規定する要件に不一致)

番号	ご意見
参考 1	<p>※番号2と同じ民間企業に所属しており、共通意見が多数のため、重複しない箇所を掲載。</p> <p>【意見者が想定するデマンド交通の導入時のアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○民間企業が事業主体となり、既存運行事業者と運行業務を委託する。</li><li>○料金は1回定額(例:200円)とし、スポンサー(利用頻度の高い病院、スーパー、店舗など)毎月協賛金を提供してもらう。</li><li>○外出機会を公民館や地域イベント告知を会員に行うことにより、利用頻度増、外出頻度増、健康増進に役立てる。</li><li>○地域のスポンサー企業や病院などと協力して集客を募る。</li><li>○地域の交通状況、乗車状況などを実測して、地域にマッチした運行方法とする。 (通学路線などは乗車人数によっては定期便の運航も混在させることができる)</li><li>○周辺市町へを超える場合は周辺地自体との協議や、乗り継ぎ運行などを検討する。</li><li>○携帯電話を持たない利用者には、スポンサーと協力して無料携帯電話設置なども検討する。ただ往路時点で、復路予約が基本とする。</li><li>○継続利用、利用者への周知や事前の交通実測や、年間事業費圧縮に貢献できるシステムの導入。</li><li>○地域住民会員、地域の交通業者、スポンサー、病院、自治体、デマンド交通システム業者が一体となり住みよい街作り、高齢者の外出促進、健康増進につなげる。</li><li>○運行する車両台数などは、現在の交通網や利便性向上に合わせて決定する</li></ul>